

ぶらっとるーむ 通信

9 月号

平成 26 年 9 月 1 日発行 ぶらっとるーむ吹田
子育て青少年拠点 夢つながり未来館（ゆいびあ）2 階

一般向け連続公開講座

「ひきこもりと不登校を考える」シリーズ ①

ひきこもりと不登校の行方

7 月 19 日（土）、夢つながり未来館「ゆいびあ」2 階会議室にて、連続講座第 1 回「ひきこもりと不登校の行方」が開催されました。講師は学校心理士の森本光展先生と吹田子ども支援センターの森本英之先生です。以下、当日のお話を簡単にまとめました。

■森本英之先生の話



吹田子ども支援センターを立ち上げて 見えてきたこと

中学校の教員退職後、学びの森で 5 年間不登校の生徒と関わりました。そして、ここに来ている子はいいけれども、その他の子どもたちへの支援をなんとかしなければと考え、吹田子ども支援センターを立ち上げました。不登校と一口に言っ

ても、それぞれに家庭環境、経済状況、もちろん子どもたちが抱えている問題もさまざまです。吹田子ども支援センターでは、夜にしか相談に来られない保護者にも対応したり、子どもたちへの学習支援、居場所事業なども行っています。

■森本光展先生の話



全国の不登校の状況について

不登校の児童・生徒数は、1970 年代から伸び始め、1990 年代に急速に増加しました。最近では中学生の不登校は減ってきていますが、高校生の不登校は増えています。中学には適応指導教室などが充実してきているためと思われます。高校の不登校生徒数の中には通信制高校の在籍者は含まれていませんから、それを含めるとかなり高い

数値になります。

不登校生徒の追跡調査

文部科学省が今月9日に発表した、不登校生徒が5年後にどうなったか(2011年)の調査によると、高校に進学した生徒は85%で、これは高校の多様化によるところが大きいと考えられます。また、大学等への進学率も23%に伸びています。本人たちは、友人関係で悩んでいた、人との付き合い方に関する指導があればよかったとの感想を述べています。

また、内閣府のひきこもり調査によると、自分の用事や趣味だと外に出られる広義のひきこもりは69.6万人、ひきこもってはいないがその気持ちはわかる「ひきこもり親和群」は155万人と推定されています。

発達障がいとの関係

不登校・ひきこもりの中にいわゆる「発達障がい」が含まれているといわれています。発達障がいは英語でDevelopmental Disorder(発達の不調)という意味で、個別の配慮をした方がよりよい発達が期待できる(杉山登志郎)とされており、障がいと捉えるよりも特性として捉える方が適切ではないかと思えます。つまり、障がいというよりも得意不得意のアンバランスがあり、その特性と環境とがうまくいかなくて不適應を起こした時、発達障がいというのです。特性上、不適應を起こした時、彼らには不快なことは受け入れ難い面があり、葛藤しなかったり問題意識がなかったりすることもありますから、不登校になったとき見守るだけでは前に進みません。その子の特性、困り感に対する支援が不可欠になります。

不登校段階での落とし穴

不登校になっても、その後の人生に見通しが持てるように、コミュニケーション能力や自己肯定

感を得られる十分な関わりがあれば、ひきこもりにならずにすみます。最近では通信制高校が増えています。玉石混交です。人生を考えたキャリア教育に熱心なところも少数ありますが、きめ細やかなケアがなされていないか、高校レベルの学力が身に着かないところもあり、慎重に選択する必要があります。

ひきこもりと不登校の関わりについて

ひきこもりから社会復帰への道は、まずは自分の部屋から出てきて、次に家族と話ができて、家の外にある「居場所」に行けるようになる、という過程をたどります。大阪府ではまだまだ少ないですが、「学校内居場所事業」として、箕面東高校には「めいぶるカフェ」というカフェのようにくつろげる居場所がありますし、次回お話しされるofficeドーナツトークの田中さんも西成高校で居場所事業を展開されています。

不登校やひきこもりの本人に「どうするの?」「このままでいいと思ってるの?」は厳禁です。一緒に遊んだり、趣味の話をしながら、本人が元気になるのを待ちましょう。本人から不安な気持ちなどが聞けるようになったら、元気になった証拠です。そのとき一緒に今後について考えていけばいいのです。親があきらめなければ道は開けます。子どもにとっての最大の支援者は「親自身」です。

■森本英之(もりもと ひでゆき)先生

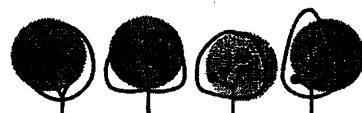
1947年 大阪府豊中市生まれ。

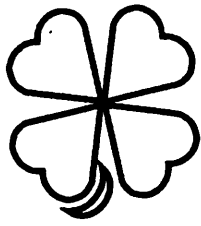
吹田市立中学校に38年間勤務。趣味はテニス。

■森本光展(もりもと みつひ)先生

1954年 岡山県生まれ。

大阪府立高校教育相談専門指導教諭、学校心理士会大阪支部運営委員。





COmpanion - COmmunity - Relation - Opportunity

COCORO の COMADO <こころの小窓>

祈りの力

青少年相談員 上田尚子

夏も終わり、少しずつ秋に向かっていく頃ですね。夏から秋にかけて、空の透明度が増し、空が高くなっているように感じられます。そんな中、お月さまもきれいにみえる時期で、空を見上げる機会も増えるでしょうか。

私は空をみていると、ふっと懐かしい思い出がよみがえってきます。そんな時に、以前教えてもらった、こんな実験結果を思い出します。

『サンフランシスコ総合病院のCCU（冠状動脈疾患集中治療室）に入院中の患者を、AグループとBグループに無作為に半数ずつ分け、10ヶ月間の実験を行った。実験では、Aグループについては、患者のファーストネームと病名と現在の簡単な状況を実験協力者に知らせ、回復を祈ってもらうことをお願いした。その際、祈り方は特定せず、祈る人各々に一任された。Bグループについては、実験としては特に何もしなかった。患者や医師、看護師等は、誰がどのグループなのか知らされていなかった。

結果、Aグループにおいて、抗生物質を必要とした患者の数がBグループの約5分の1だったことや、死亡率が低かったことなどから、Bグループと比較して、治療の効果が良いという結果が出た。そこで、実験を行ったバードは、CCUの患者に対して祈りの効果があったのではないかと示

唆している。』

この実験において、患者に対応した医師の技量が検討されていない、祈る技術を測定する必要があるのではないか等々、多くの批判もあり、細かな分析の余地は多分にあるのだと思うのですが、「人の思いや祈りが人に影響を与えるのかもしれない…」そんな可能性のかけらを知れたことが、私の心をなんだかほっこりさせてくれました。目に見える物質的な充足によって、生きていく上での足りないものを次々に補おうとしがちな中で、人の思いや祈りが持つ力にも、もう少し目を向けていけてもいいのかもしれない、そんなことを考えさせてくれました。

そして、自分が祈られていると知らなくても効果があるなんて。このことを知ってから、もう会えることはないかもしれないけれど、私の心の中では、今も居続けている人のことを思い出した時には、その人のことを思って、「その人らしく、元気でいますように」と心から祈ってみようとしています。そんな思いがどんな形かは分からないけど、届いてくれたらいいなあと思いながら☆



☀ 9月の行事予定 ☀

〈お申込み・お問合せ (06) 6816-8531〉

* 一歩踏み出すための「若者のための就労なんでも相談」

履歴書・職務経歴書の書き方、面接の不安、仕事の探し方など、個別相談に応じます(随時実施・要予約)。



* 一般向け連続公開講座 「ひきこもりと不登校を考える」シリーズ②

「ひきこもりと最近の若者支援の動向と実際」

9月13日(土) 14:30~16:30 「ゆいぴあ」4階多目的会議室

講師: 田中俊英 (office ドーナツトーク代表)

* 「青少年のためのコミュニケーション力アップ講座 基礎編」

なかなかうまく人と関われないと思っているあなたのための3回だけのプチ講座。

将来、進学や就職等を目指しているおおむね18歳から39歳までの方が対象です。

(複数人数で実施。個別になる場合もあります)(定員10名)

テーマ: ①自分をもっと知ろう 9月5日(金) 15:00~16:00

②自分をもっと知ってもらおう 9月12日(金) 15:00~16:00

③コミュニケーション力向上 9月19日(金) 15:00~16:00

まい・ぶーむ

少し前、ウォーキングを勧めてもらいました。それはいい!と盛り上がりおきながらまだ始められていないインドアな私です。ということで、今回はウォーキングとは別に密かに楽しんでいることを書きます。それは、行き帰りの電車で外の景色を見ることです。最初はこの駅の辺りはマンションが多いなー、ここは緑が多いなーと街と自然の移り変わりを楽しんでいました。ただ、正直なところ、ああ今日も変わらないなーと飽きてきました。それはもうブームではないと言われそうですが、最近の楽しみはここからです。一見変わらない中にあるちょっとした変化が面白いんです。例えば、雨が降った時の川の様子、夕暮れ時にシルエットで見る街がきれいなこと。景色ではありませんが、時間帯によって違う乗客の顔ぶれも興味深いです。“ちがひ”探し、気が向いたらやってみてください。

だんだんと季節も移ろって、これからも新しい何かが見つかるだろうと思うと、とても楽しみです。もう少し涼しくなったらウォーキングも始めます。(T)

ぶらっとるーむ吹田 子育て青少年拠点 夢つながり未来館(ゆいぴあ)2階

〒565-0824 吹田市山田西4丁目2-43

お問い合わせ(06)6816-8531 相談受付専用ダイヤル(06)6816-8534